

予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

開会日	令和3年11月25日(木) 午前10時30分
閉会日	令和3年11月25日(木) 午前11時05分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 議場
出席委員	委員長 山田かずひこ 副委員長 なかじま和代 委 員 青山直道 石じまきよし 伊藤真規子 大島令子 岡崎つよし 加藤和男 川合保生 木村さゆり ささせ順子 さとうゆみ 田崎あきひさ 富田えいじ 野村ひろし 山田けんたろう わたなべさつ子
欠席委員	な し
欠 員	な し
会議事件のため出席した者の職氏名	市長 吉田一平 総務部長 中西直起 次長 加藤英之 財政課長 嗟峨 剛 福祉部長 川本満男 次長兼健康推進課長 浅井俊光 主幹 遠藤佳子 子ども部長 門前 健 次長 飯島 淳 子ども家庭課長 出口史朗
	計 10 人
職務のため出席した者の職氏名	議長 伊藤祐司 議会事務局長 水野敬久 議事課長 福岡弘恵 書記 浅井良和
会議録	別紙のとおり

別紙

委員長 開会宣言
議長 あいさつ
市長 あいさつ

議案第 53 号令和 3 年度長久手市一般会計補正予算（第 9 号）

財政課長 議案第 53 号について説明

歳出 3 款 2 項 児童福祉費＜子育て世帯臨時特別給付金給付事業＞

大島委員 給付金対応電算システム導入委託料として約 544 万円計上されているが、どのようなシステム改修なのか。

子ども家庭課長 システム改修ではなく新たなシステムの導入である。この委託料には、要件定義、運用確認、データ連携と移行の仕様の確認、システムのセットアップ、事前テスト、機能・リリース作業、仕様の説明、適用作業、帳票の設定、本番環境と同様のリハーサル、システム稼働時の操作説明と本番作業の立ち会い等が含まれている。

大島委員 給付金対応電算システム導入委託と封入委託の契約先は同じになるのか。

子ども家庭課長 システム導入と同じ事業者になると考えている。

大島委員 令和 3 年 12 月 28 日までに振り込むとのことだが、できるのか。

子ども家庭課長 児童手当を支給している家庭は、振込口座等も把握しているため、年内に振り込みできる予定である。

大島委員 全国一斉の事業となるが、業者は対応できるのか。

子ども家庭課長 国から示された内容にあわせて事業者も準備を進めているため問題ないと考える。

田崎委員 合計 10 万円の給付のうち、現金給付 5 万円のためのシステムだが、残りの 5 万円分をクーポンではなく、現金で給付するのであれば、このシステムをそのまま利用できるのか。

子ども家庭課長 国が詳細を示していないので、答えられない。

歳出 4 款 1 項 保健衛生費＜予防接種事業＞

さとう委員 3 回目のワクチン接種のための予算が計上されているが、1、2 回目の接種をしていない人への対応はどのようになるのか。

健康推進課長 未接種者は引き続き予約できるため、随時対応する。

さとう委員 接種券を発送するための通信運搬費が計上されているが、どの

ようなスケジュールで郵送する予定なのか。

健康推進課長 該当者が3回目の接種が可能となる日を迎える約2週間前までに接種券を配送する予定である。

わたなべ委員 職員手当等の積算内容はどのようなか。

健康推進課長 ワクチン接種事務として、令和3年12月から令和4年3月までの時間外勤務手当を計上している。試算した健康推進課の時間外勤務の平均時給2,470円に、1人あたり月40時間で合計12人を4か月続けると見積もった。加えて、集団接種業務として、令和4年2月から3月までに9人が1日9時間、月16日間勤務することを想定した。

ささせ委員 2回目のワクチン接種のつらさを受けて、3回目の接種をしたくないというという声も聞く。協力いただくためにどのような発信をしていくのか。

健康推進課長 デメリットよりメリットの方が大きいことを広く御理解いただけるよう発信していきたい。

ささせ委員 ワクチンの安全性はどのように説明していくのか。

健康推進課長 国から示された副反応や重篤件数などを周知し、自らの意思で接種していただけるようにしていきたい。

ささせ委員 全国の自治体でワクチン接種記録システム（VRS）への登録漏れが起きているとの報道もあるが、本市は大丈夫か。

健康推進課長 職員が約2か月かけてデータを見直し、精査した。

大島委員 3回目接種はどのような体制で運用することを考えているか。

健康推進課長 1、2回目と同様に個別接種と集団接種の併用型とする予定である。

なかじま委員 副反応5件のうち、重篤な副反応は2件とのことだが内容はどのようなか。

健康推進課長 武田モデルナ社製ワクチンは、10代男性で急性心筋炎、ファイザー社製ワクチンは、30代男性でアナフィラキシーの発生との報告を受けている。

田崎委員 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の協力機関事務手数料として93万5,000円計上されているが、協力機関とは具体的にどのようなものか。

健康推進課長 新型コロナウイルスワクチン接種で個別接種の医療機関において、ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）及びワクチン接種記録システム（VRS）への接種記録等の入力作業があることからこの

手数料を支払うものであり、市内約 25 か所の医療機関が対象となる。

田崎委員 3 回目のワクチンコールセンター等の業務は、2 回目までの接種時に委託していた業者と随意契約する予定なのか。

健康推進課長 同じ業者に委託することを考えている。

さとう委員 副反応が出た方は、副反応により病院を受診しても医療費がかからないなどの救済を受けることができたのか。

健康推進課長 相談があれば、健康被害救済制度を案内している。申請して認められれば、発生した医療費は返還される。申請している方もいるが、決定までに 3 か月から半年はかかる状況である。

大島委員 1、2 回目の接種時にコールセンターへの苦情はあったか。

健康推進課長 開設当初は電話がつながらないとの声もあったが、その後は特にない。

質疑及び意見を終了

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

採決

賛成全員により、原案のとおり可決

委員長 委員長報告は委員長と副委員長への一任を確認。

委員長 閉会宣言

午前 11 時 05 分終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

令和 3 年 11 月 25 日

予算決算委員会委員長 山田かずひこ